

三島・沼津・原「宿場町交流会」

主催沼津・観光まちづくり市民の会 **共催**三島市ふるさとガイドの会、沼津観光ボランティアガイド、
原・浮島観光ボランティアガイドの会、本町まちづくり研究会 **協力**沼津市教育委員会、沼津史談会

日程 2017年（平成29年）2月25日（土）三島宿、3月26日（日）沼津宿、4月22日（土）原宿

概要 ①三島宿交流会は天候に恵まれ、楽寿園前には約100人の参加者。本陣跡や千貫樋、源兵衛川などを訪ねて宿場の西半分を見学。街中のせせらぎ整備など、新しいまちづくりの進展と共に、女郎衆で知られる三島宿の賑わいが身近に感じられた。
②沼津宿交流会は冷たい雨と強風の中、沼津駅南口・西周（にしあまね）レリーフ前には100人を超える参加者。沼津城跡、本町界隈を濡れながら歩き、第一地区センターで「沼津まちなかウォッチング map」と市指定文化財「沼津宿絵図」の講座、映像鑑賞。
③原宿交流会は曇りがちな天候の中、片浜駅南口に100人近い参加者。旧東海道を西に向かい、数ある寺社を横目に、白隠禅師ゆかりの松蔭寺、禅師生誕の地、天下の名園として多くの旅人を引き付けた帯笑園（たいしょうえん）を重点的に見学。原駅で解散。

成果 ①江戸時代中期の沼津宿は、箱根関所との交通や観光名所の数などの点では三島宿、原宿に比べて一步譲らざるを得なかった。しかし、後期になると三枚橋城から170年を経て沼津城が復活し、城下町・宿場町の機能が強化された。
②明治元年末、沼津城二の丸御殿を校舎として「沼津兵学校」が開設され、本丸跡には寄宿寮もできた。城の西側には兵学校附属小学校や同陸軍医局・医学所に始まる沼津病院（後の駿東病院）も設置され、全国に誇る学術・文化の花が開いた。
③明治5年、廃藩置県に伴い沼津城は廃城となり、長い歳月のうちには城跡が完全になくなったため、人々の中では次第に城下町の記憶は薄れて、沼津藩や沼津兵学校の存在を知らない人も増えている。
④そこで今回は、試作段階の「沼津まちなかウォッチング map」を用いたところ、「沼津城や沼津宿、沼津兵学校の歴史が分かり易くなった」とか「中心市街地の過去と現在を比較できるようになって良かった」など、参加者から高い評価が得られた。
⑤地図の概要は下記のとおりですが、沼津兵学校創立150周年記念事業（フレッシュ150）の推進役を務める沼津郷土史研究談話会（略称・沼津史談会）では、右側の＜追加予定、補足・修正か所＞欄の末尾に記載した通り、市民参加による「沼津まちなか歴史MAP」の作成に向けて、既に次のステップへの取組を始めています。

展望 一年半後の沼津兵学校創立150周年記念式典に向けて、「歴史を生かした沼津のまちづくり」を確かなものとするため、現在取組中です。今後とも市民の皆様の知恵や工夫をお寄せいただきたく、あなたの積極的なご参加・ご協力をお待ちしています。

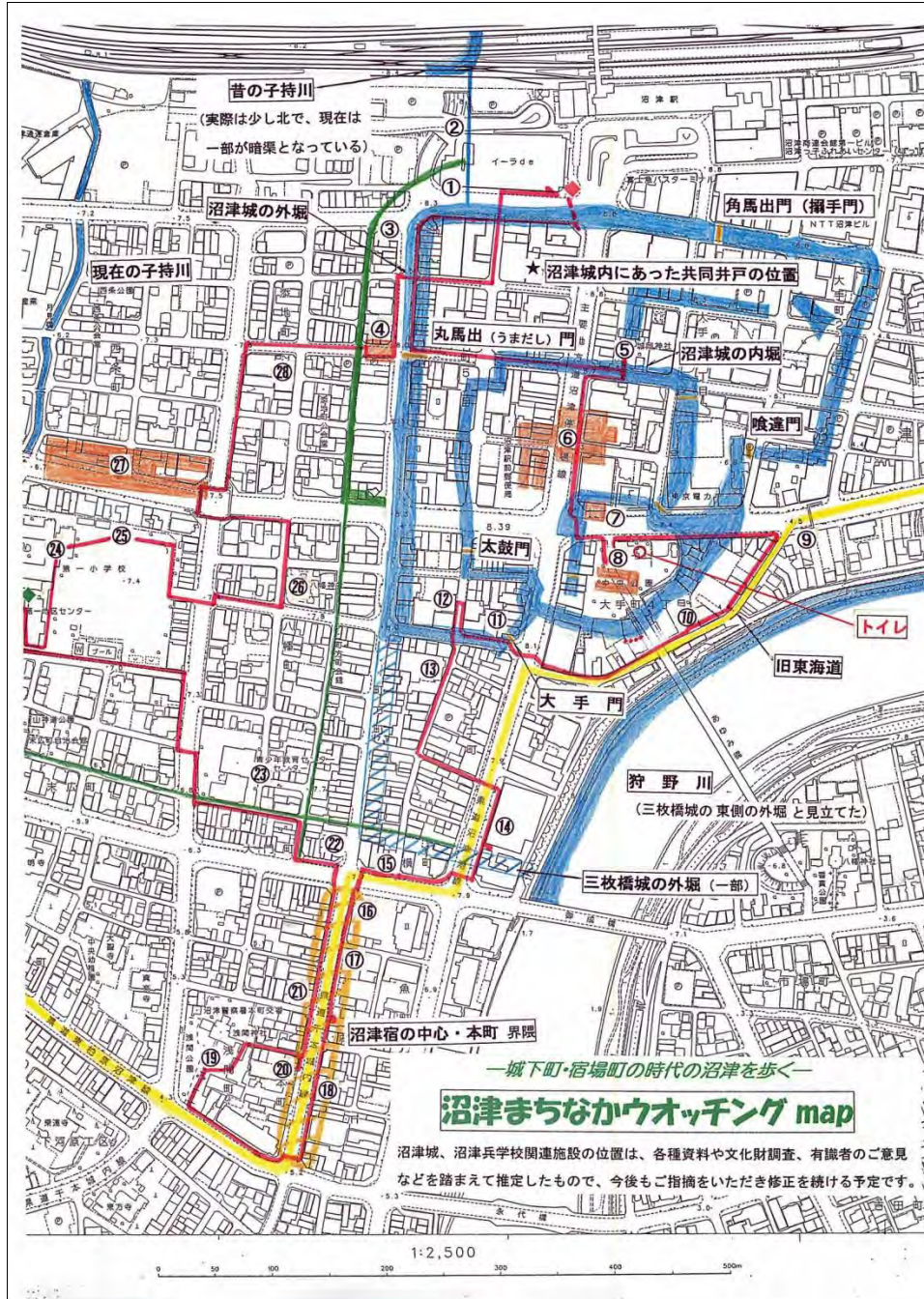
◆連絡先＝〒410-0048 沼津市新宿町19-4 天野出版工房内・沼津史談会事務所 <電話兼ファックス055-921-1412>

沼津まちなかウォッチング map 2017年（平成29年）3月26日使用、10月28日追加等発表。

<地図の中のマル付き数字の解説>

◆沼津兵学校頭取・西周レリーフ→集合場所

- ①西周旧居跡（片端19番屋敷）
- ②外堀の水の取水口
- ③大築尚志一等教授旧居跡（17番屋敷）
- ④沼津兵学校附属小学校跡記念碑
- ⑤城岡神社（東照宮）
- ⑥沼津兵学校校舎跡（沼津城二の丸御殿）
- ⑦沼津城天守台跡
- ⑧沼津兵学校寄宿寮跡
- ⑨旧東海道（川廊東側入口）
- ⑩水神社から沼津城を見る
- ⑪沼津城大手門付近
- ⑫新仲見せせらぎ計画の解説
- ⑬町方役人長屋跡 ⑭三枚橋城石垣
- ⑮問屋場跡 ⑯高田本陣跡
- ⑰中村脇本陣跡 ⑱清水本陣跡
- ⑲浅間神社 ⑳間宮本陣跡
- ㉑元問屋仮本陣跡 ㉒アーケード名店街
- ㉓本光寺跡（敷地東側の緑色の道は通称・裏丁くうらちょう、南側は同・新裏くしんうら）
- ◆第一地区センター→講座・映像鑑賞
- ㉔市立第一小学校（兵学校附属小学校）
- ㉕道喜塚（大久保忠佐供養塔）
- ㉖八幡神社（沼津病院・杉田頭取宅近く）
- ㉗沼津病院（駿東病院）跡
- ㉘馬場跡（馬術訓練場）



<追加予定、補足・修正か所>

- 1. 図中②の上に「昔の子持川」が描かれているが、今後作成するデジタル地図では当時の川の姿を復元する予定。
 - 2. 図中④に関連して、代戯館から兵学校附属小学校、現在の市立第一小学校に至る立地場所の変遷は改めて検討。
 - 3. 図中★の「共同井戸」は位置が違っていった可能性がある。
 - 4. 図中外堀の東北隅にある「大手町2」付近の道路の角に昔の地形の名残と見られる場所が現存している。
 - 5. 図中⑧の寄宿寮の位置はやや南になる見込み。その下の外堀発掘箇所の赤い4つの点は、堀の北側に変更する。
 - 6. 図中㉗「沼津病院（駿東病院）」跡は、建物の右側部分がやや南になる予定。
 - 7. 図中㉘の「馬場跡」は、位置がやや西で、南北に細長い形だった。
 - ※ この図は手書きであり、正確性が低いため、平成29年度中にはデジタル地図「沼津まちなか歴史MAP」として、作成の予定。
- 既に沼津史談会主催の「沼津ふるさと講座」市民参加の手作り教室で作業を始めている。次回は12月23日（土）開催予定。<下半期講座計画>をご参照ください